

○事業所名	社会福祉法人 湯沢市社会福祉協議会 通所支援事業所なないろ		
○保護者評価実施期間	7年 2月 3日		7年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19人	(回答者数) 18人
○従業者評価実施期間	7年 1月 14日		7年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	7年 2月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・1人1人の特性や成長段階を捉え、長期的なスパンで支援計画を策定し児童・生徒の育ちを支えている。	・小学校1年生からの高校1年生までの長期間の成長を細やかに把握し適切な支援ができるよう職員全体で児童・生徒の育ちを支えています。 ・保護者とのコミュニケーションを大切にし家庭での様子も共有させていただいています。	・一人一人の特性に対応できるよう、職員の支援スキルや資質の向上が必要である。
2	・各学校との連絡体制を整え連携を図っております。	・各学校との定期的な情報交換や個別支援記録の共有、行事への参観を通して児童・生徒の学校での様子を把握し対応しています。 ・学校への迎えの際に児童・生徒の様子を担任等より教えていただいたり、放課後等デイサービスから月のお便りを学校へ配信したりして双方で児童・生徒の姿を知り理解を深めるようにしています。	・顔を合わせたの情報交換が、なかなか難しい現状にあり、オンライン等を活用して行うことができるようにしていきたい。
3	・様々な災害を想定した、事業所避難訓練や法人合同避難訓練等を定期的に行い災害時に対応できるよう訓練を積み重ねています。	・事業所避難訓練は月に1回、法人との合同避難訓練は消防署立ち合いのもと年に1回実施しております。 ・BCP(業務継続計画)に則り、感染症発生時対応やAEDの使用方、救命講習を行っております。	・災害時は隣接する法人本部の応援を想定しているが、事業所のある町内にも施設の事業内容を知っていただく必要がある。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の住民を事業所行事等に招待することが難しい。	・不特定多数の人が集まることに安全面での心配があり、また、そのことを心配している保護者の皆様からのご意見もあります。	・クリーンアップや買い物体験等で事業所側から地域に出掛けることが、地域の皆様に知っていただくきっかけとしていきたい。また今後も継続することが大事であると考えております。
2	・放課後児童クラブ等との交流や地域の他の子どもとの活動する機会を持つことが難しい。	・保護者の中に交流を望まないご意見が多数あります。	・放課後等デイサービスの職員と児童クラブの職員が交流のメリット、デメリットや障がい特性を理解しインクルーシブ教育の重要性を学ぶ機会が必要であると考えます。 ・保護者の皆様と交流の趣旨や重要性を丁寧に話し合い理解をしていただく必要があると考えます。
3	・父母の会の設置や集団での保護者会を実施することが難しい。	・小学1年から高校3年までの12年間を放課後等デイサービスで過ごす児童・生徒も多数いることから保護者の皆様の連携が大切であると認識はしていますが、就労しているご家族の皆様は時間に作っていただき参集することが難しい。	・ご家族の皆様(きょうだい)を包括的に支援し、対象者を限定しない取り組みも必要であると考えます。